

研究課題名	心停止後症候群におけるてんかん性放電出現時期と予後の関連
研究機関名	武蔵野赤十字病院
研究責任者	所属 救命救急科 氏名 鈴木 秀鷹
研究期間	臨床研究倫理審査委員会承認後 ～ (西暦) 2033年3月
研究の意義・目的	心停止後症候群は非常に重篤な病態であり、その中でも低酸素性虚血性脳症は予後に大きな影響を与えることが知られている。持続脳波モニタリングで検出されるてんかん性放電の予後との関連は一定の見解がないことから、今回検証することとした。
研究の方法 (対象期間含む)	方法:後ろ向き観察研究 対象期間・対象:2019年4月から2033年3月までに心停止後症候群で入院し、持続脳波モニタリングが実施された症例 調査項目: ・主要評価項目 退院時の神経学的予後mRS(modified Rankin Scale)とし、mRS 0-3を予後良好群とし、mRS4-6を予後不良とする。 ・副次評価項目 発作の有無、てんかん性放電の有無や出現時間
①試料・情報の利用 目的および利用方法	①後ろ向き観察研究であり、診療録より情報を収集し、統計学的解析をおこなう
②利用し、又は提供する 試料・情報の項目	②調査項目:年齢、性別、心停止に関わる情報(目撃の有無、バイスタンダーCPRの有無など)、既往歴といった患者情報 入院中のCT検査、MRI検査結果、腎機能や肝機能採血データ、脳波データなどの検査データ
③試料・情報の取得 の方法	退院時の転帰やmRS、GCSといった転帰データを収集する
④利用する者の範囲	③カルテ記載情報から抽出
⑤試料・情報の管理 について責任を有する 者の氏名又は名称	④研究代表者 救命救急科 鈴木 秀鷹 ⑤研究代表者 救命救急科 鈴木 秀鷹 ならびに 武蔵野赤十字病院 院長 黒崎 雅之
問合せ先	当研究に自分の試料・情報利用を停止する場合等のお問い合わせ 〒180-8610 東京都武蔵野市境南町1-26-1 武蔵野赤十字病院 所属 救命救急科 氏名 鈴木 秀鷹 TEL: 0422-32-3111 (代表) 6812 (事務局内線) FAX: 0422-32-3525